

「マイ・ストーリー」を描き、それを語れる力が、これからの大学入試で希望進路を実現するために必要とされることを検証し、そうした力を生徒に育む教師の指導や支援のあり方・方法を、実践事例を通じてお伝えしたVIEWnext高校版 2021年8月号・特集はこちら ▶



「マイ・ストーリー」とは、生徒一人ひとりの「自分のこれまでの学びや活動、その成果や結果に至るまでのプロセス、これからの展望」を指す。総合型選抜や学校推薦型選抜（以下、推薦型選抜）を始めとするこれからの大学入試に向けて、「マイ・ストーリー」を描き、それを語れる力を生徒に育む実践事例を紹介する。

3年次8・9月

志望理由書の作成・面接指導

## 学年団の教師、生徒が協働して、

## 志望理由書の作成、模擬面接に取り組む

岩手県立福岡高校 2021年度3学年団と進路指導部

マイ・ストーリー  
3年次8・9月頃  
の課題

- ・担任との面談を通して固まった志望理由を、志望理由書に「マイ・ストーリー」として表現する
- ・入試本番の面接での受け答えが、志望理由書に記載した内容と齟齬そごがなく、志望の熱意を自分の言葉として語れるようにする

### ✓ 学年主任と進路指導主事が「マイ・ストーリー」をチェック

生徒に推薦型選抜への挑戦を推奨することを、学年全体の方針とした岩手県立福岡高校の2021年度3学年団。学年主任を務めた横坂さくら先生は次のように振り返る。

「学年団の先生方とは、社会課題に対する生徒の意識や探究学習での取り組みを面談などで掘り起こして、少しでもチャンスのある生徒には、推薦型選抜への挑戦を勧めることを、3年次の4月の時点で確認しました」

それは単なる受験機会の拡大という理由か

らではなかったと、3学年担任を務めた長岡拓郎先生は語る。

「過去10年間の本校の卒業生のマーク式の模擬試験から大学入試センター試験や大学入学共通テストまでの点数の伸びを分析したところ、推薦型選抜で進学した卒業生は、一般選抜で進学した卒業生よりも、大学入学共通テストまでの点数を大きく伸ばしていることが分かりました。高校での経験や志望理由、大学での学びの目的を整理し、志望理由書などでそれらをアウトプットすることが、受験勉強や大学入学後の学びへの意欲を高めるのだと思います」

担任との面談を通して、多くの生徒が7月末には出願校を絞り込み、8月からは、総合型選抜の出願者が志望理由書の作成に着手した。ある程度形になったと担任が判断した志望理由書は、学年主任の横坂先生と進路指導主事の高橋英明先生が目を通し、管理職のチェックを受ける体制を採った。

多くの志望理由書は、学年主任と進路指導主事から何度も差し戻された。志望理由が「マイ・ストーリー」として語られていないケースが少なくなかったのだ。多くの生徒が3回以上、中には10回近くのフィードバックを受けて、志望理由書をブラッシュアップしていった。

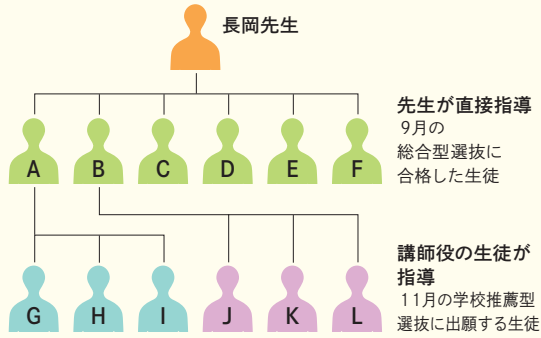
「『きっかけとなった興味・関心、経験』『高校での学び』『大学で学びたいこと』など、志望理由を語る上で大切な要素の一つひとつはそれなりに書けているけれども、よく読むと、一貫性が乏しく、説得力に欠けていました」（高橋先生）

4月から7月末まで面談を重ね、丁寧に生徒の志望を掘り起こしてはいても、志望理由書という形で「マイ・ストーリー」を語れるかどうかはまた別の問題だったと、担任を務めた佐藤翔太先生は振り返る。

「志望理由を『マイ・ストーリー』として文章で表現することの難しさを痛感しました。志望理由書が差し戻された生徒とは、職員室で大学のウェブサイトをしながら改めて面談し、『大学で学びたいこと』、社会貢献

### 生徒同士で進める模擬面接の仕組み

長岡先生のクラスでは、9月の総合型選抜で合格した6人の生徒が、入試本番の面接の経験を生かして、11月の学校推薦型選抜の面接対策の講師となった。講師役の生徒はそれぞれ3人程度の生徒を担当し、長岡先生から学んだ面接中のマナーなどを伝えた。その後、それぞれのグループ内で模擬面接を何度も繰り返した。



### 生徒間で入試対策の進捗を共有

クラウド上で入試対策の進捗状況の共有を行った。志望理由書や小論文の添削指導、模擬面接の回数などとともに、満足いく対策ができていない項目には○を、出願が済んだら◎を、生徒が毎朝、ホームルームの時間にスマートフォンで入力。ほかの生徒の入試対策の進捗が分かることで、対策に臨むモチベーションの向上につながった。

名前	出願開始	出願申込	試験	発表	志望理由書	面接	小論文	グループ	推薦書
1	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	11	8	なし	○
2	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	△	3	2	なし	○
3	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	5	1	なし	○
4	12/4(日)	12/4(日)	12/4(日)	12/14(日)	◎	0	0	15	◎
5	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	17	21	なし	○
6	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	14	6	なし	○
7	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	10	19	なし	○
8	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	5	10	なし	○
9	9/21(水)	8/20(水)	10/21(日)	11/18(月)	◎	20	7	なし	◎
10	10/21(水)	8/20(水)	10/21(日)	11/18(月)	◎	11	9	なし	◎
11	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	6	7	なし	◎
12	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	14	6	なし	◎
13	8/17(金)	10/1(水)	10/1(水)	11/2(水)	◎	19	5	なし	◎
14	8/20(水)	10/25(日)	10/25(日)	11/2(水)	◎	10	4	なし	◎
15	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	△	0	7	なし	○
16	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	10	8	なし	◎
17	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	15	3	なし	◎
18	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	12	3	なし	◎
19	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	6	3	なし	◎
20	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	10	5	なし	◎
21	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	13	8	なし	◎
22	10/17(日)	10/22(金)	11/21(水)	12/1(水)	◎	4	6	なし	◎
23	10/17(日)	10/22(金)	11/21(水)	12/1(水)	◎	5	5	なし	◎
24	10/17(日)	10/22(金)	10/21(日)	11/1(水)	◎	10	1	なし	◎
25	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	20	5	なし	◎
26	8/21(水)	8/20(水)	10/21(日)	11/18(月)	◎	4	6	なし	◎
27	11/17(月)	11/18(月)	11/18(月)	12/1(水)	◎	20	8	なし	◎
28	10/21(水)	8/20(水)	10/21(日)	11/18(月)	◎	20	8	なし	◎

※学校資料と取材を基に編集部で作成。

For Teacher Section

お勧めの分掌

管理職

教務担当

進路担当

学年団

担任



左から/横坂さくら(21年度3学年主任)、長岡拓郎(同3学年担任)、高橋英明(進路指導主事)、佐藤翔太(同3学年担任)

#### 学校概要

- ◎設立 1901(明治34)年
- ◎形態 全日制・定時制/普通科/共学
- ◎生徒数 1学年約140人
- ◎2022年度入試合格実績(現役のみ) 国公立大は、弘前大、岩手大、秋田大、福島大、埼玉大、新潟大などに61人が合格。私立大は、芝浦工業大、東京理科大、法政大、明治大などに延べ72人が合格。

志望理由書の作成と模擬面接において、「マイ・ストーリー」を描く生徒と、それを支援する教師の姿をさらに詳しく紹介!

VIEWnext ONLINE ▶▶

「私のクラスでは、総合型選抜に合格した6人が、入試本番の面接の経験を生かして、11月の学校推薦型選抜に出願する生徒が講師役として活躍している。先生が直接指導した生徒が、今度は講師役として活躍している。先生が直接指導した生徒が、今度は講師役として活躍している。」

志望理由書で「マイ・ストーリー」を表現することができた生徒たちが次に臨むのは、面接対策だ。面接という特殊な場面で気負ってしまうからか、模擬面接においても、話す内容が志望理由書の内容とずれてしまう生徒が少なくなかった。長岡先生は、志望理由書を何度も書き直したように、模擬面接は1回の時間は短くてもよいので、回数を重ねることが大切だと力説する。

「私のクラスでは、総合型選抜に合格した6人が、入試本番の面接の経験を生かして、11月の学校推薦型選抜に出願する生徒が講師役として活躍している。先生が直接指導した生徒が、今度は講師役として活躍している。先生が直接指導した生徒が、今度は講師役として活躍している。」

学校推薦型選抜の面接対策の講師を務めました。講師1人につき3人程度の生徒を担当してもらい、講師役の生徒を含めたグループ内で、受験生役、面接官役を交替で務めながら模擬面接を繰り返しました(長岡先生)

長岡先生のクラスでは、生徒が模擬面接の実回数など、入試対策の進捗をクラウド上で共有していたこともあり、生徒たちは競うように模擬面接に真摯に取り組んだ。中には、50回以上も模擬面接を受けた生徒もいたという。

志望理由書の作成と模擬面接という過程を通して生徒に「マイ・ストーリー」を描かせ、それを語る力を確かなものにした同校は、22年度大学入試において、139人の卒業生のうち、国公立大学の推薦型選抜に挑戦した生徒の約半数にあたる42人が合格という、輝かしい成果を収めた。